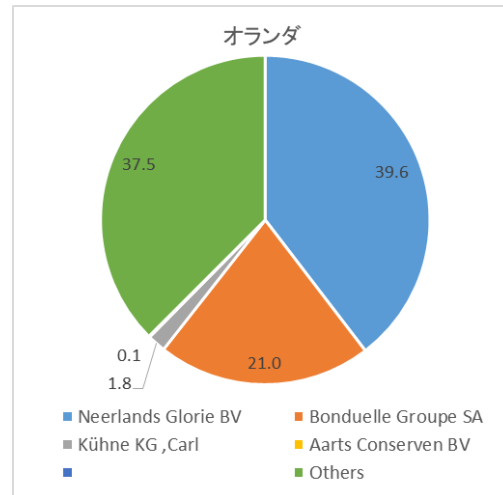
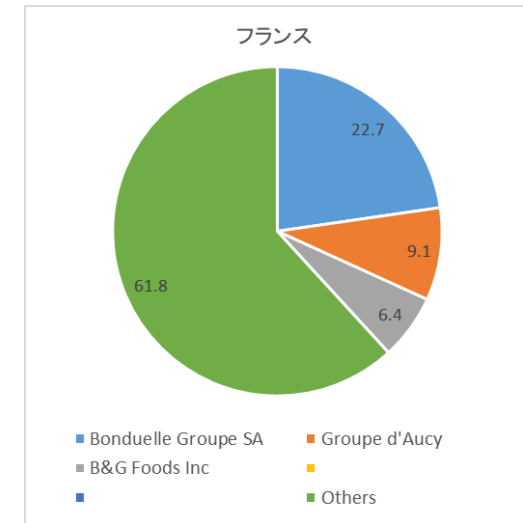
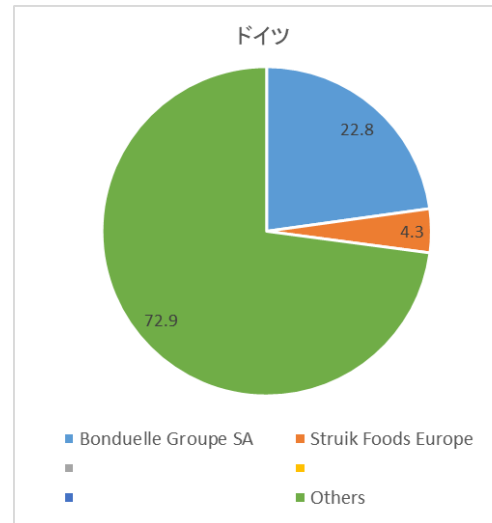
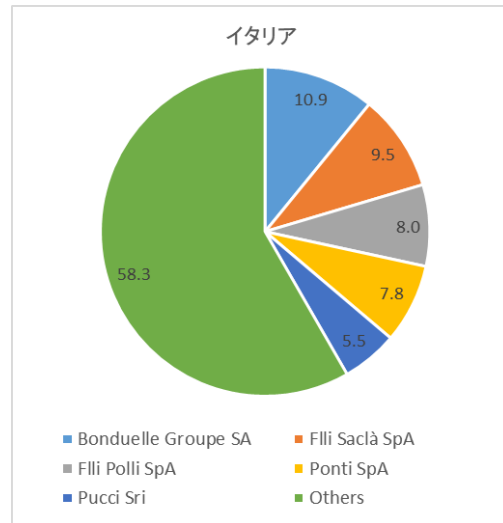


1. 現状調査・情報収集

- (1) 日本の食品製造業の産業特性と生産性の変化
- (2) 欧州の食品製造業の産業特性と生産性の変化
- (3) 業種別、国別の代表ブランド・企業のシェア

野菜缶詰・農産保存食品製造業

- オランダではNeerlandsやBonduelle Groupe SAによる寡占化が進行。他国ではBonduelle Groupe SAがトップだが独自メーカーが多数存在

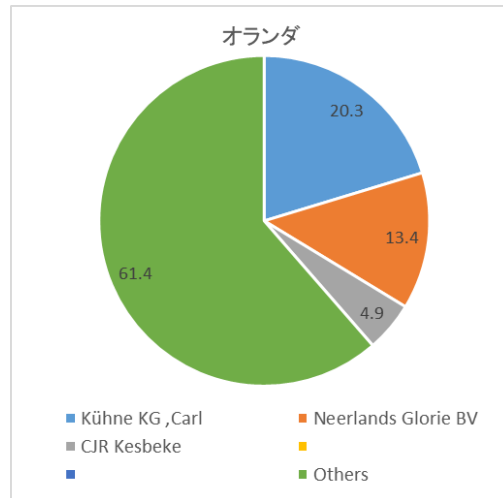
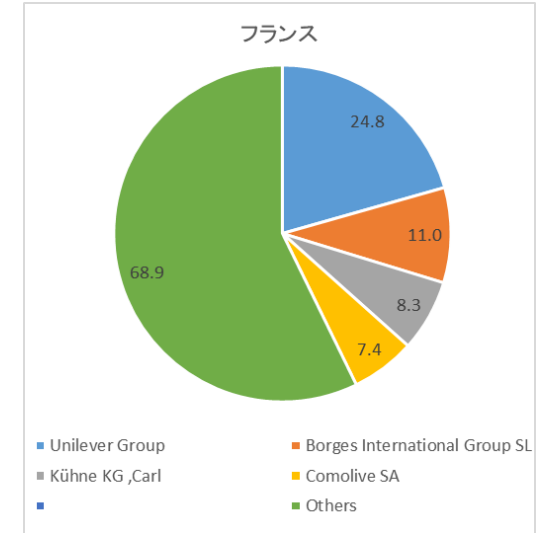
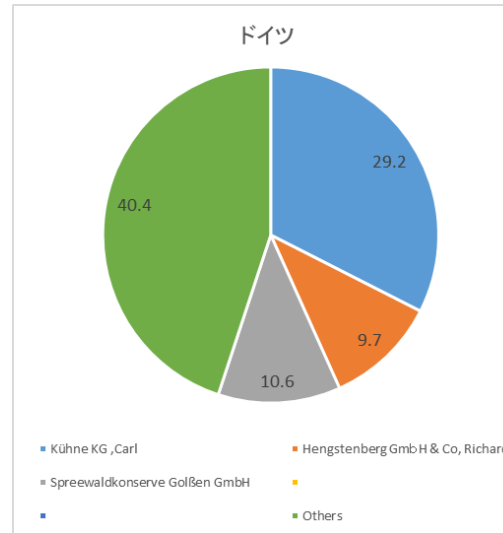
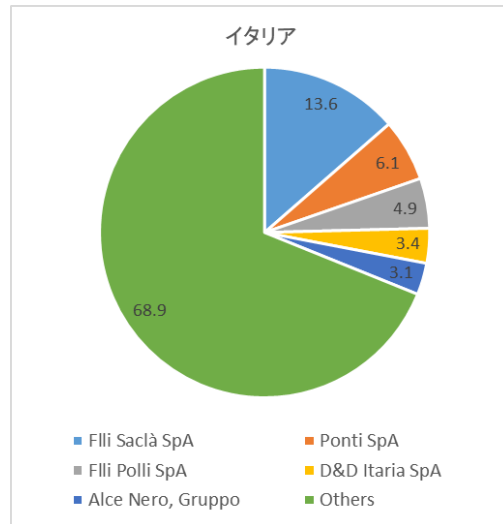


- ボンデュエル社は、1968年にフランスで初めて冷凍野菜を商品化してヨーロッパに次々とビジネスを展開
- 現在では、冷凍のみならず野菜の缶詰めやフレッシュタイプのアイテムを広く手がけるトップメーカーとして知られている
- 約380軒もの農家としっかりしたパートナーシップを結び、安全性を守りながら栽培した栄養たっぷりの野菜を使用して商品を製造
- 同社では野菜の種の選定から収穫・加工・パッキングの全工程を自社でコントロール。特に冷凍は、収穫から急速冷凍までを短時間で完了する高い技術力を有している
- 冷凍技術によって野菜の鮮度や栄養価が完全に保持されるため、商品は常に高いクオリティを誇る

<https://www.webgrandchef.com/veg/vegefro.html>

野菜漬物製造業

■ キューネ

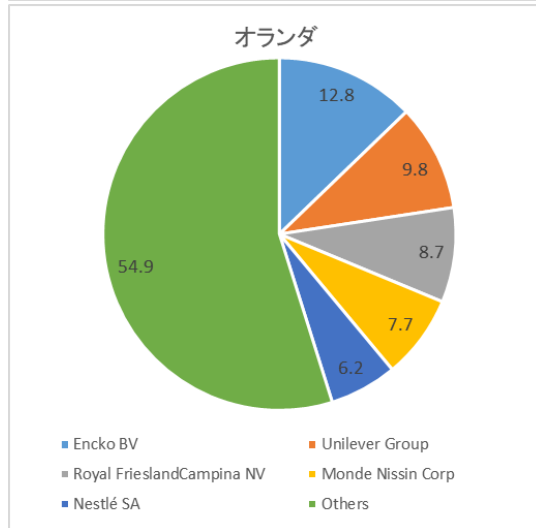
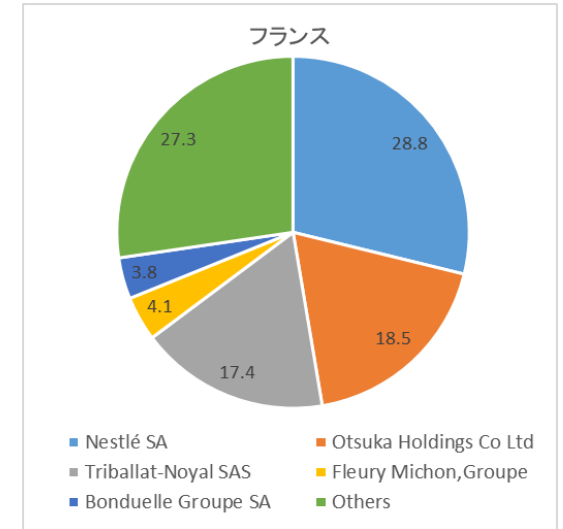
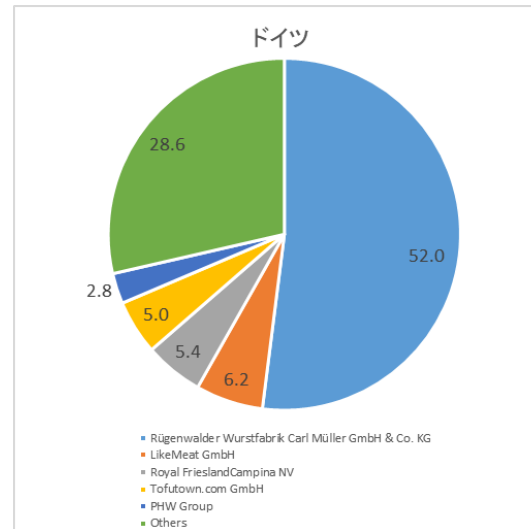
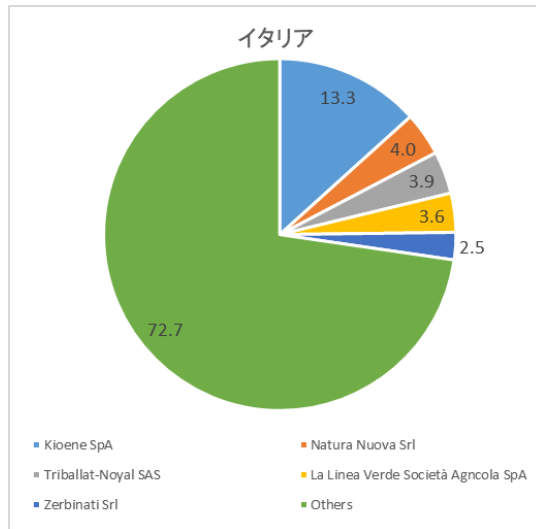


- キューネは、創業1722年、主に酢と珍味を製造するドイツの食品メーカー
- ヨーロッパで最大の酢、きゅうりのピクルス、マスタードの生産者の1つとして、家族経営の企業は50か国以上で製品を販売
- キューネは、さまざまな調味料、サラダドレッシング、漬物、ソースを製造
- また、最終消費者向けの製品に加えて、美食および食品産業にも供給
- 売上の3分の2はドイツで、3分の1は海外
- その製品は、ヨーロッパ、中東、アジア、アフリカ、オーストラリア、アメリカのファーストフードおよび食品セクターに流通

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/12/e3d50d1c56c69eb6.html>

豆腐油揚げ製造業

- ドイツのリュージェンヴァルダー・ミュレはベジタリアンとビーガン向け製品を提供する企業。

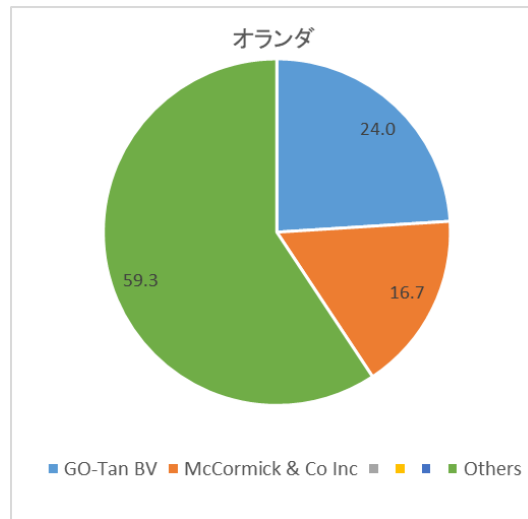
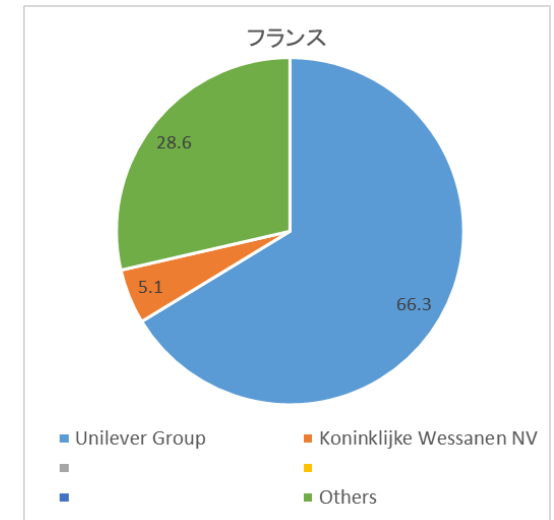
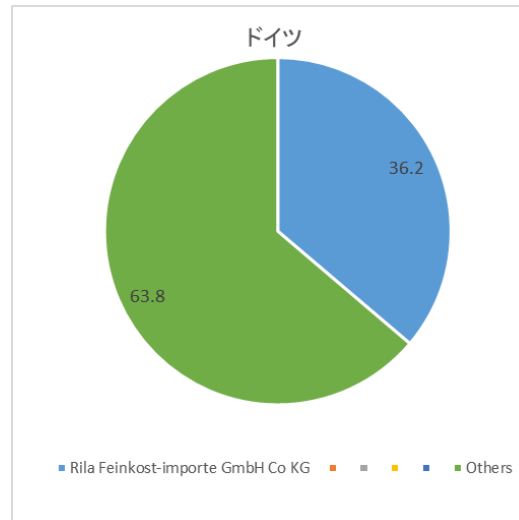
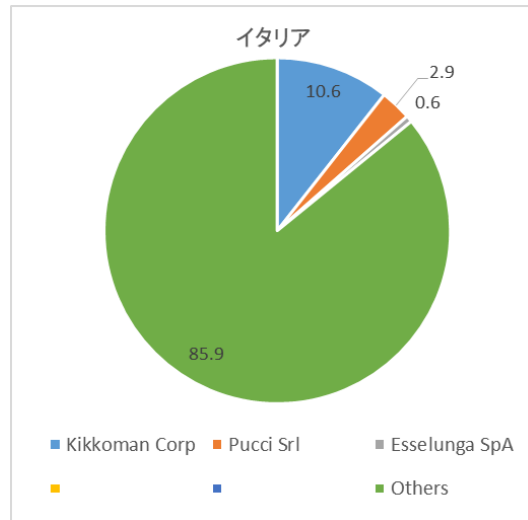


- ・ リュージェンヴァルダー・ミュレ社は、19世紀から続く北ドイツの老舗食肉加工品メーカー
- ・ ヴィーガンの挽き肉やソーセージ、レバーペーストなどの商品開発に着手。2019年5月にはドイツ各地の畑、50ヘクタールで大豆の自社栽培も開始

https://r-tsushin.com/journal/europe/germany_2020_11.html

味噌製造業

コメント



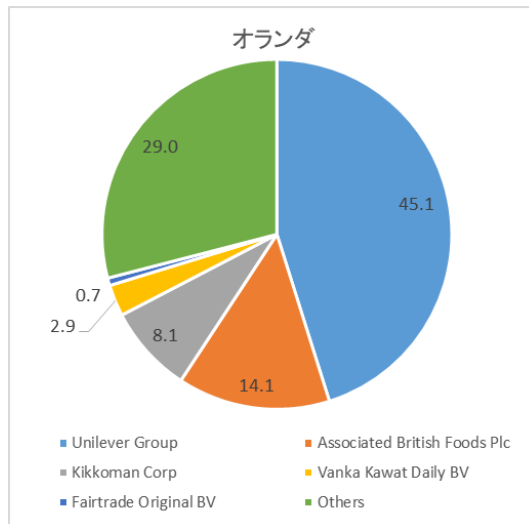
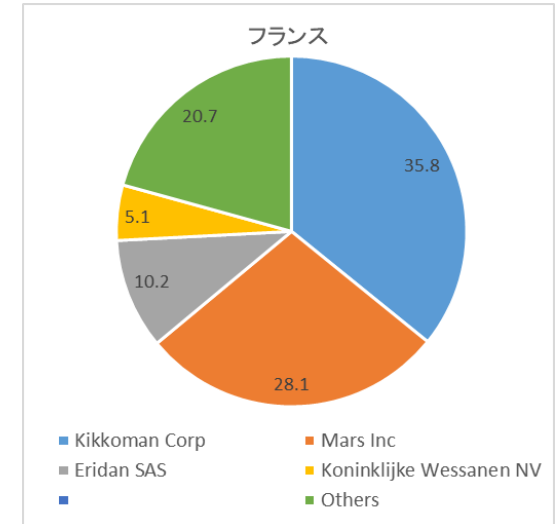
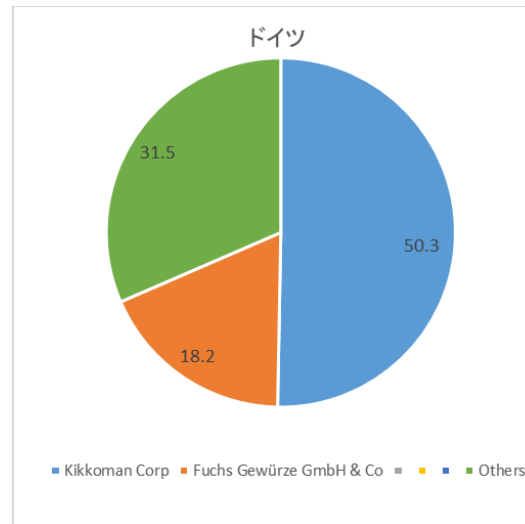
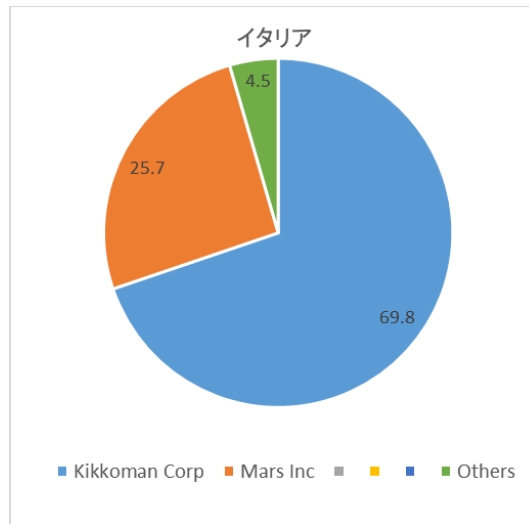
Rila
DIE GENUSSENTDECKER*

- リラ・ファインコスト・インポーター (Rila Feinkost-Importe) 社は、ドイツ国内約7,200のスーパーマーケットに流通網を持つ有望バイヤー
- 同社はアジア食材の加工食品などをプライベートブランドで販売
- 現在取り扱っている日本の商品のほとんどが中国やタイから輸入品だが、近年、みそ汁やラーメンの認知度も上がっており、同社は特にわさびやみそ、麺類などに大きな市場性を見いだしている

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/12/e3d50d1c56c69eb6.html>

醤油製造業

- イタリア、ドイツ、フランスではキッコーマンがトップシェアのブランドで寡占化している。オランダのUnileverは調味料としてのシェア

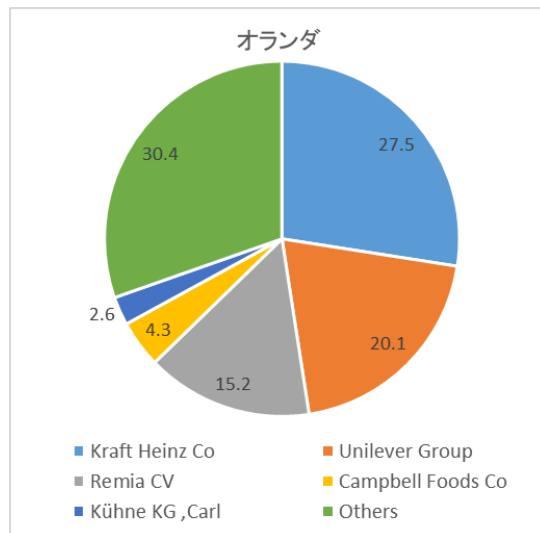
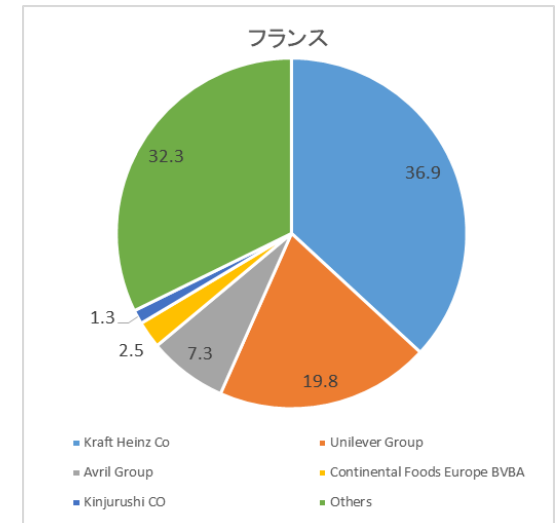
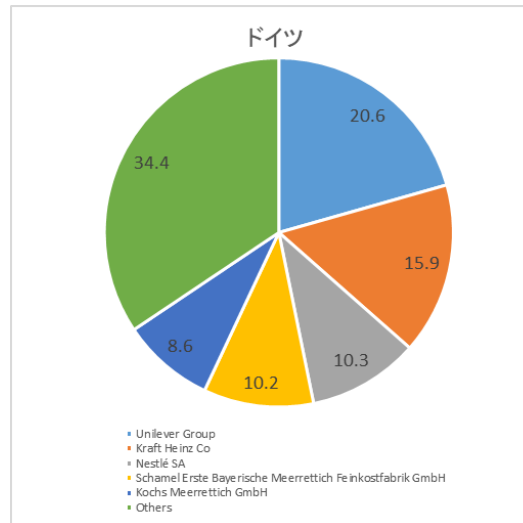
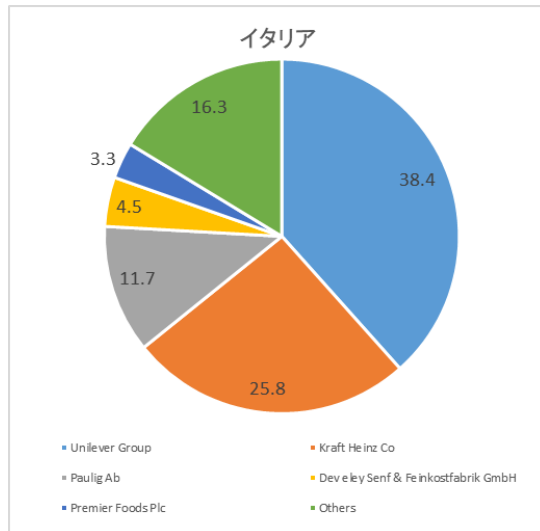


- 1917年の株式会社設立
- 「食文化の国際交流」をモットーに、日本の食文化を世界に広めるとともに、世界の優れた食文化を日本に紹介する企業活動を推進
- 日本では、キッコーマンしょうゆをはじめとして、しょうゆ関連調味料、和風そうざいの素、デルモンテトマト製品、マンジョウ本みりん、マンズワイン、そして豆乳飲料などを提供
- 世界においては、キッコーマンしょうゆを「KIKKOMAN」として、アメリカ、アジア、ヨーロッパにある7つの海外工場から100カ国以上の国々に出荷

<https://www.kikkoman.com/jp/corporate/index.html>

ソース製造業

コメント



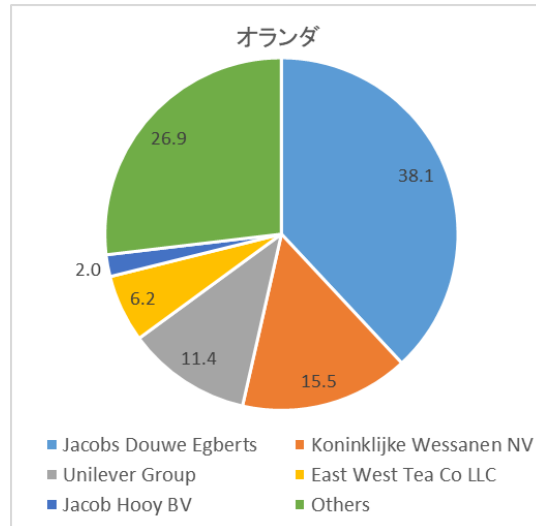
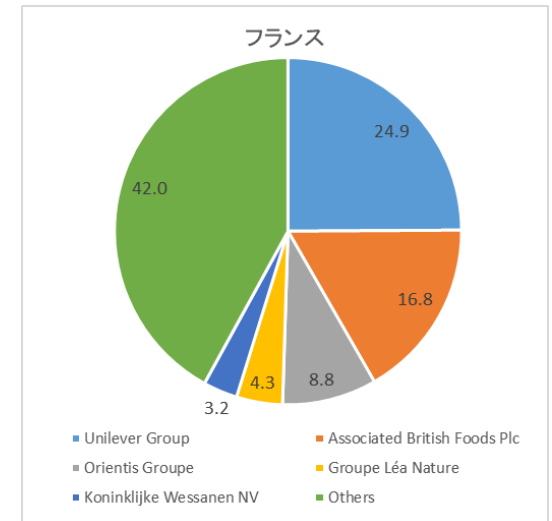
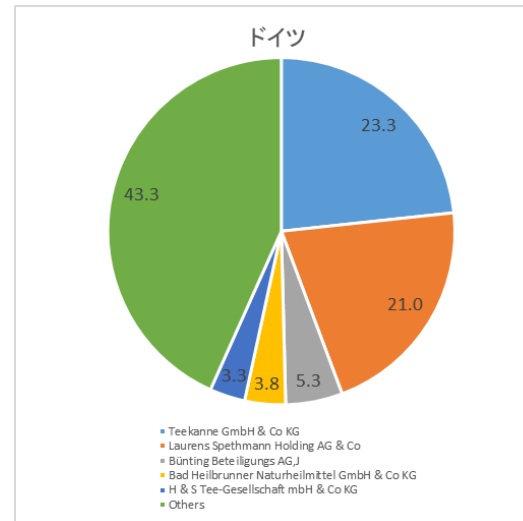
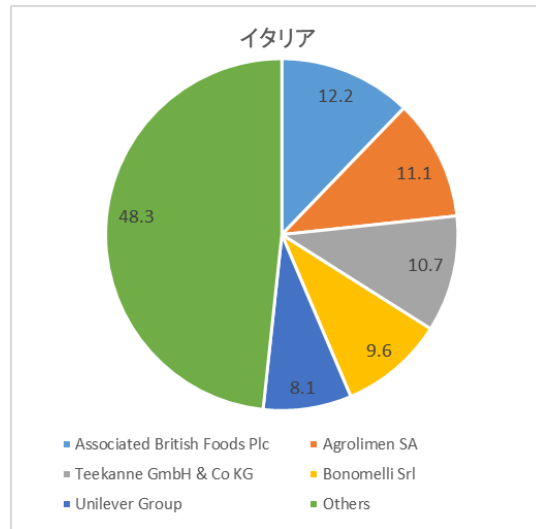
KraftHeinz

- クラフト・ハインツ社はアメリカの食品持株会社。世界第5位の食品メーカー
- 2015年に、チーズや冷凍食品、飲料などを手掛ける米食品大手のクラフト・フーズ・グループとケチャップで有名な米HJハインツが合併して設立
- ソース関連商品として、デミグラスソース、ホワイトソース&グラタンベース、パスタソース、スープ、トマトソース、トマトケチャップ& マスタードを製造販売

<https://www.heinz.co.jp/>

製茶製造業

■ ユニリーバーのリプトン

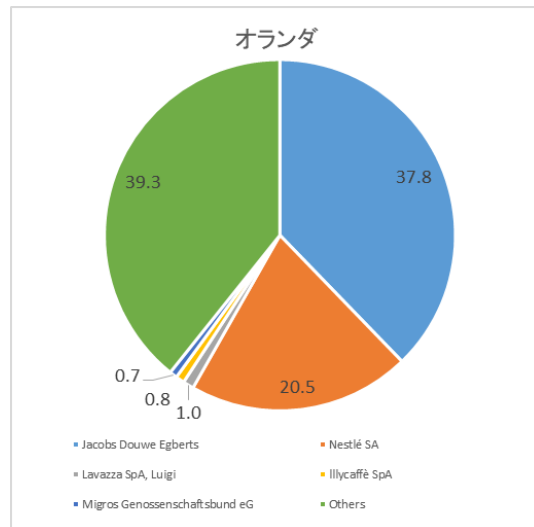
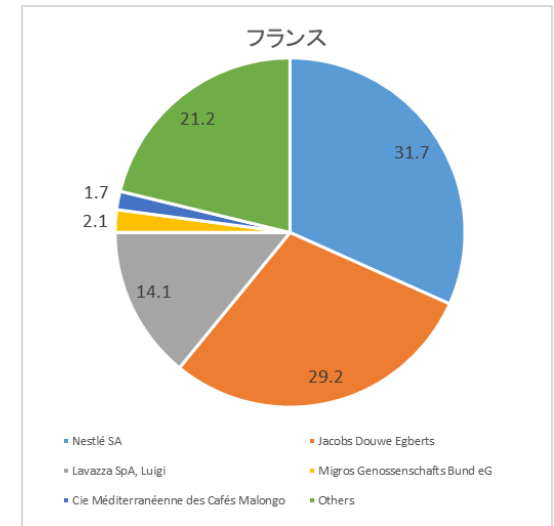
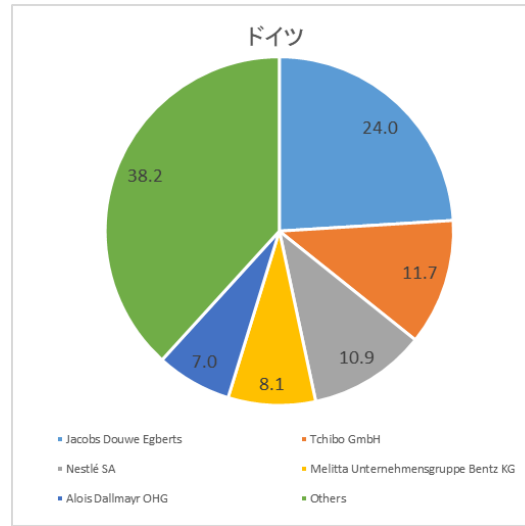
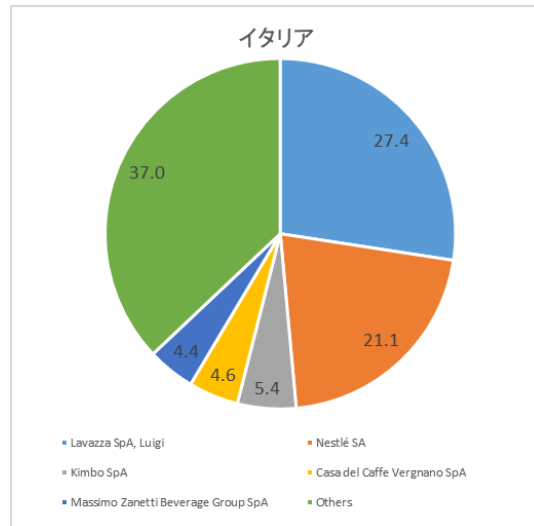


- リプトンは、ユニリーバ社が保有する紅茶ブランド。年間30億ユーロ（約3600億円）前後の売上高
- ユニリーバ社はイギリスとオランダに本拠を置く世界を代表する消費財大手メーカー。イギリスの石鹼会社のリーバ・ブラザーズとオランダのマーガリン会社のマーガリン・ユニが1930年に合併して誕生。紅茶、アイスクリーム、食品、化粧品やパーソナルケア分野において強力なブランドを保有
- 同社の紅茶事業の世界市場のシェアは約20%。リプトン（Lipton）、ブルックボンド（BrookeBond）、PGティップス（PG Tips）、プレミアムハーブティーのパッカ（pukka）といった著名ブランドを保有
- 紅茶市場の縮小に伴い、ユニリーバ社はリプトンブランドの売却を検討中

<https://deallab.info/unilever-tea-2/>

コーヒー製造業

コメント

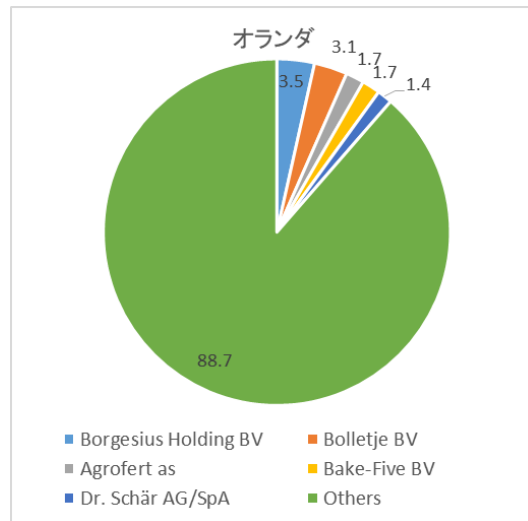
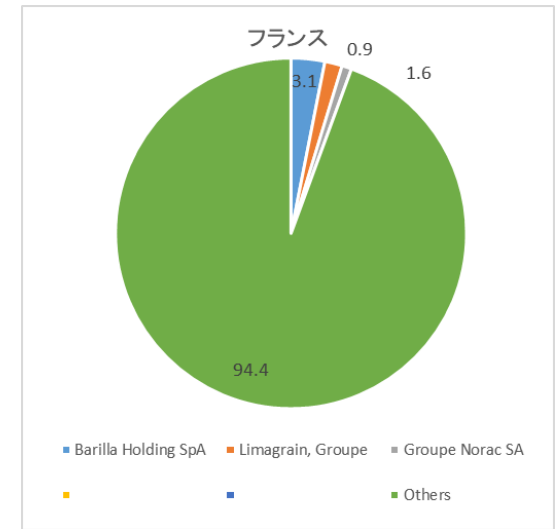
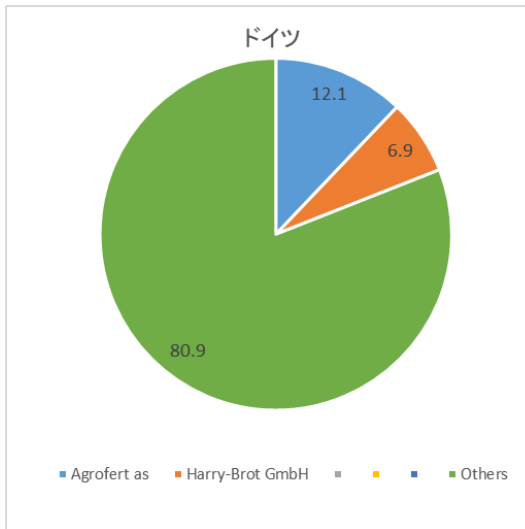
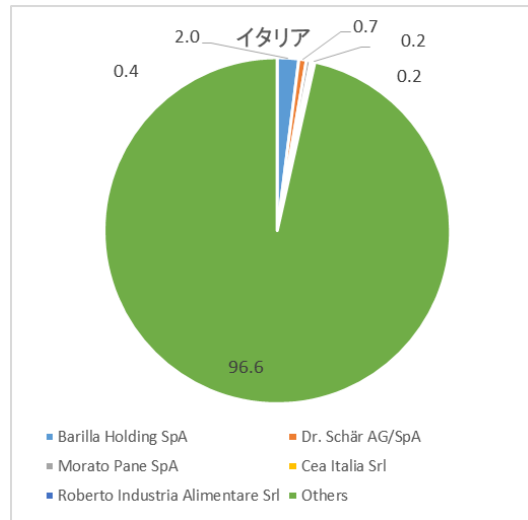


- ジェイコブズ・ダウ・エグバーツ社は、2015年にDEマスター・ブレンダーズ1753とモンデリーズ・インターナショナルが世界最大となるコーヒー事業専門会社を設立
- 年間売上高50億ユーロ以上で、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、オーストラリア全域18か国以上で1位または2位
- ジェイコブズ (Jacobs)、タッシモ (Tassimo)、モコナ (Moccona)、センセオ、ロル (L'Or) 等の強力ブランドとダウエグバート (Douwe Egberts)、ケンコ (Kenco)、ピロン (Pilao)、ゲバリア (Gevalia) 等の地域有名ブランドを保有
- 2019年12月、米国のピーツコーヒー (Peet's Coffee) とオランダのコーヒー大手「ヤコブ・ダウ・エグバーツ (JDE)」が合併

https://response.jp/release/kyodonews_kaigai/20150507/17636.html

パン製造業

■ パン製造等



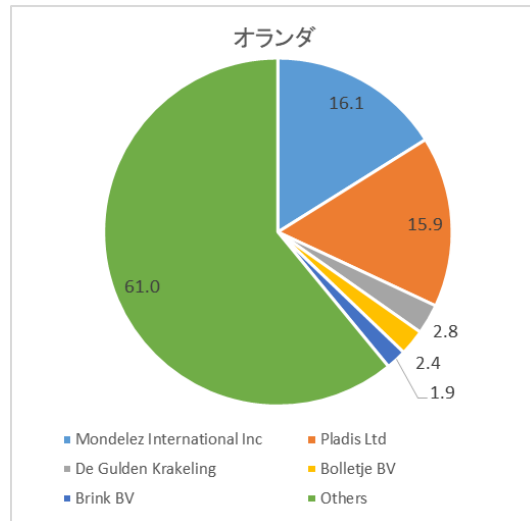
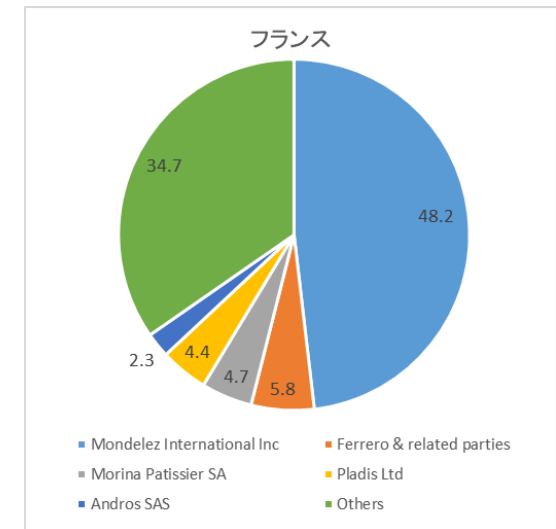
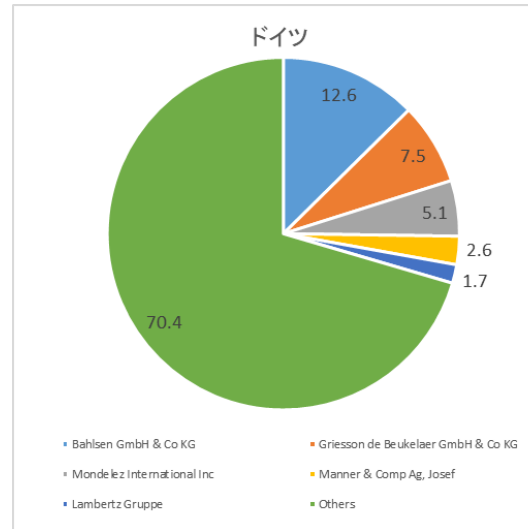
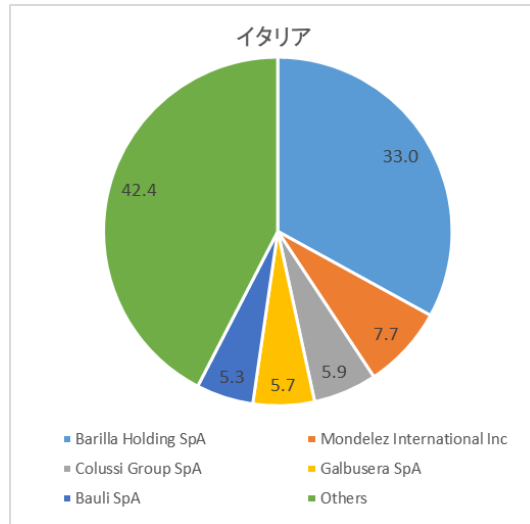
AGROFERT

- アグロフェルト社は、チェコ共和国に本拠を置くAndrej Babiš(バビシュ)氏率いるチェコ最大手の食品グループ。非公開会社
- 2017年、ドイツにパン工場を稼働

<https://deallab.info/bakery/>

ビスケット製造業

- フランスでは米国のMondelezが圧倒的なトップシェアを占める。国ごとに特徴的な構成となっている

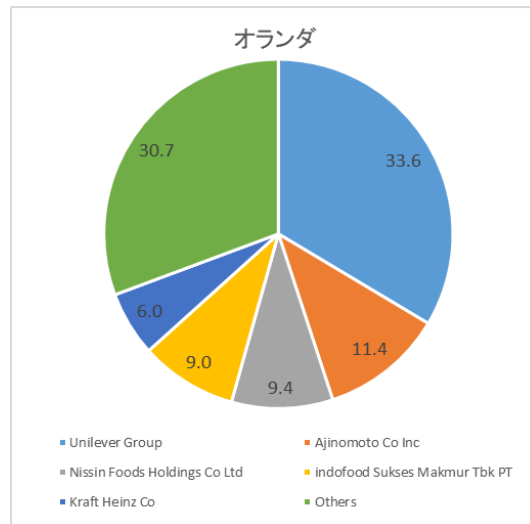
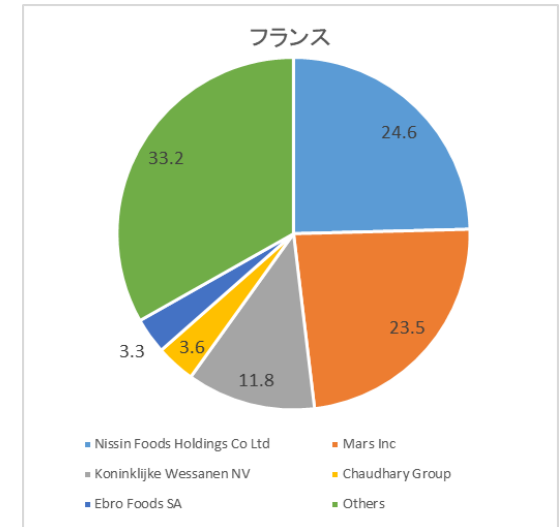
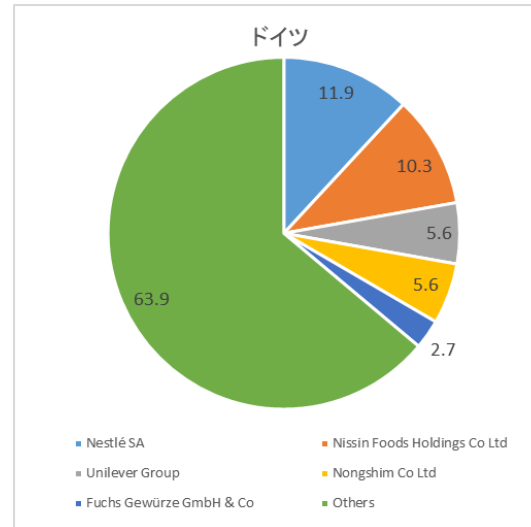
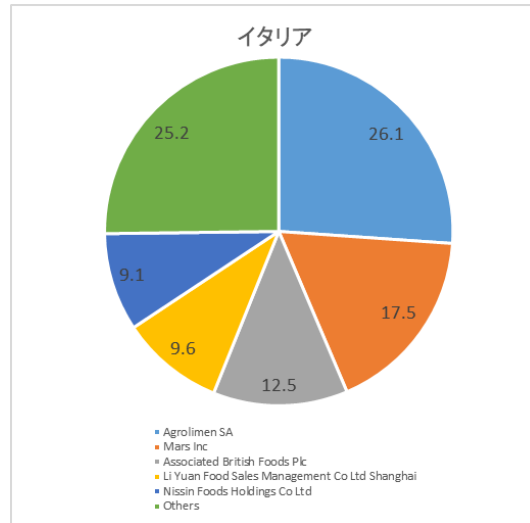


- イタリア最大の食品会社。1877年にパルマで創業
- Mulino Bianco、Pavesi、Voiglio、Wasa等の異なるタイプのパスタを生産
- 加熱食品、調理済食品とともにイタリアでシェア1位
- イタリアNo.1のビスケットブランド バリラ ムリーノビアンコを展開

<https://deallab.info/bakery/>

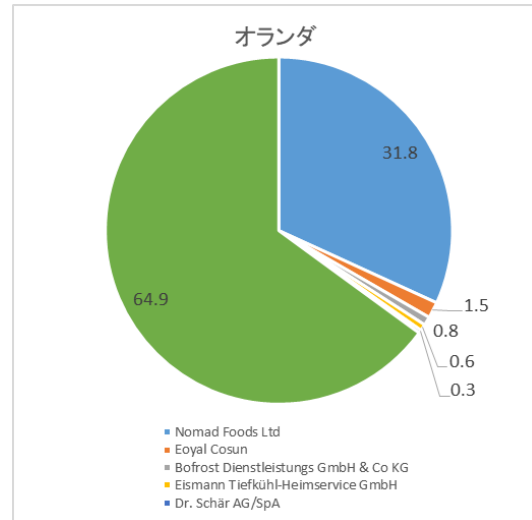
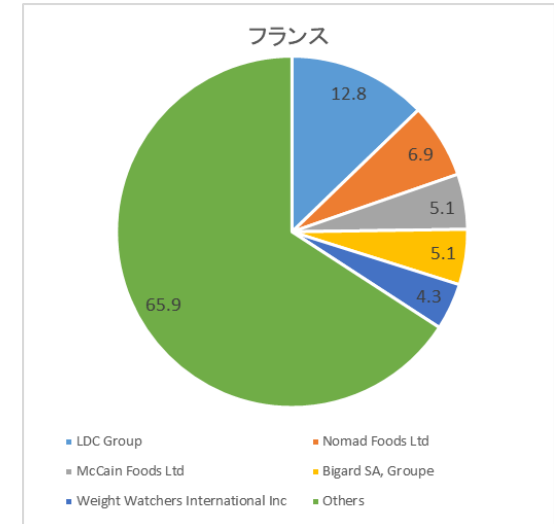
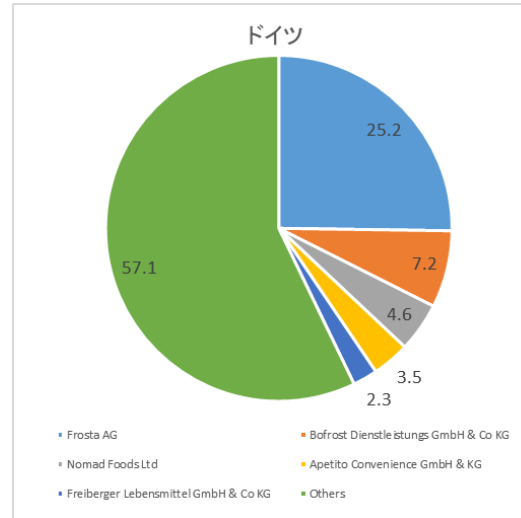
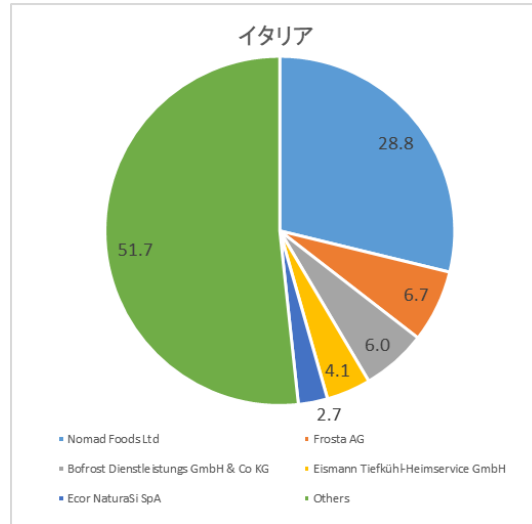
麺類製造業

- 各国でトップブランドが異なり、国ごとに特徴的な構成となっている



冷凍調理食品製造業

- イタリア、フランスでは、Nomad Foodsがトップシェアを占めるが、その他のメーカーの占める割合も大きい

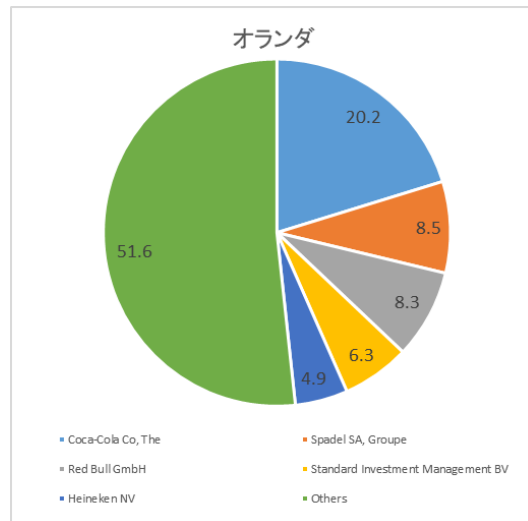
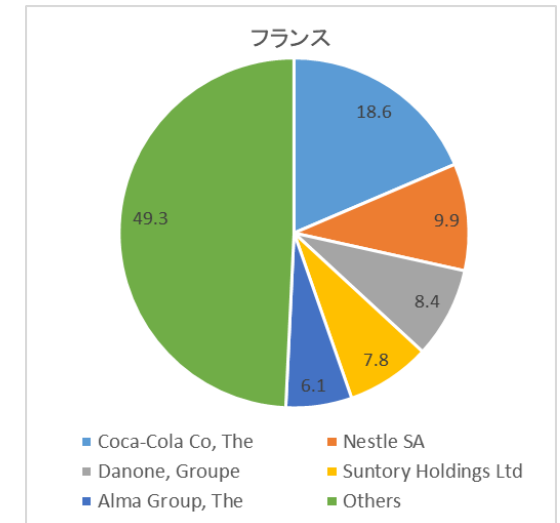
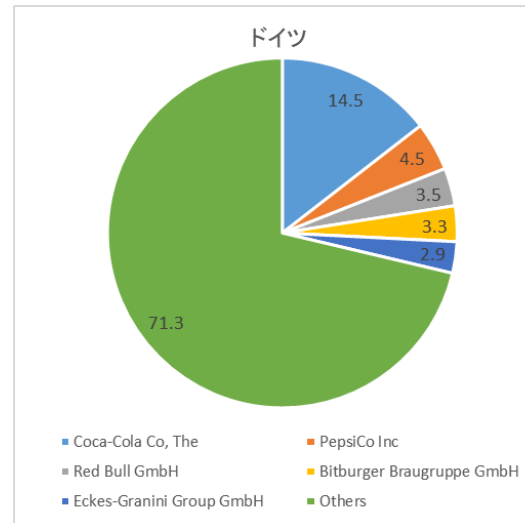
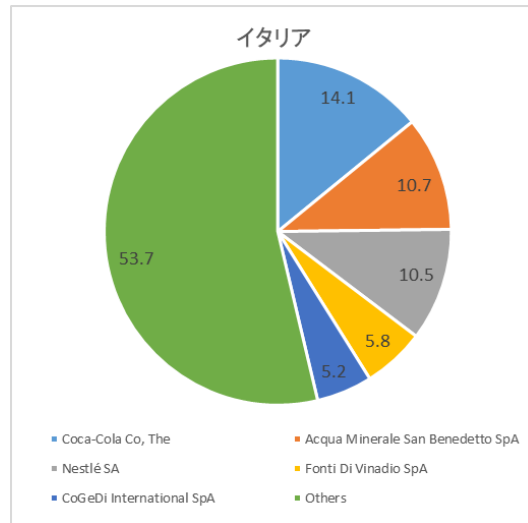


- ノマドフーズ社は、英国に本社を置く、ヨーロッパ最大の冷凍食品会社。英国、イタリア、ドイツ、スウェーデン、フランスをはじめとする13カ国で様々なブランドの冷凍食品を製造、販売、流通
- Birds Eye、Findus、iglo等のニッチブランドのポートフォリオをM&Aによって所有

<https://www.nomadfoods.com/about-us/>

清涼飲料製造業

- 各国でCoca-Colaがトップブランドで、2位以降も大手メーカーが多いが、ローカル飲料メーカーも過半を占めている



- コカ・コーラ・ヨーロピアン・パートナーズは、西ヨーロッパの消費財会社
- 各種ノンアルコール飲料、RTD飲料の製造・販売・流通を行う
- アンドラ、ベルギー、フランス大陸、ドイツ、イギリス、アイスランド、ルクセンブルク、モナコ、オランダ、ノルウェー、ポルトガル、スペイン、スウェーデンを含む西ヨーロッパの消費者にサービスを提供
- ブランドには、コカコーラ (Coca-Cola)、ダイエットコーラ (Diet Coke)、コカコーラライト (Coca-Cola Light)、コーラゼロ (Coke Zero)、コカコーラライフ (Coca-Cola Life)、ファンタ (Fanta)、スプライト (Sprite) 等が含まれる
- 製品のポートフォリオには、エネルギードリンク、水、ジュース、スポーツドリンク、すぐに飲める茶が含まれる。

<https://jp.investing.com/equities/coca-cola-ent-company-profile>